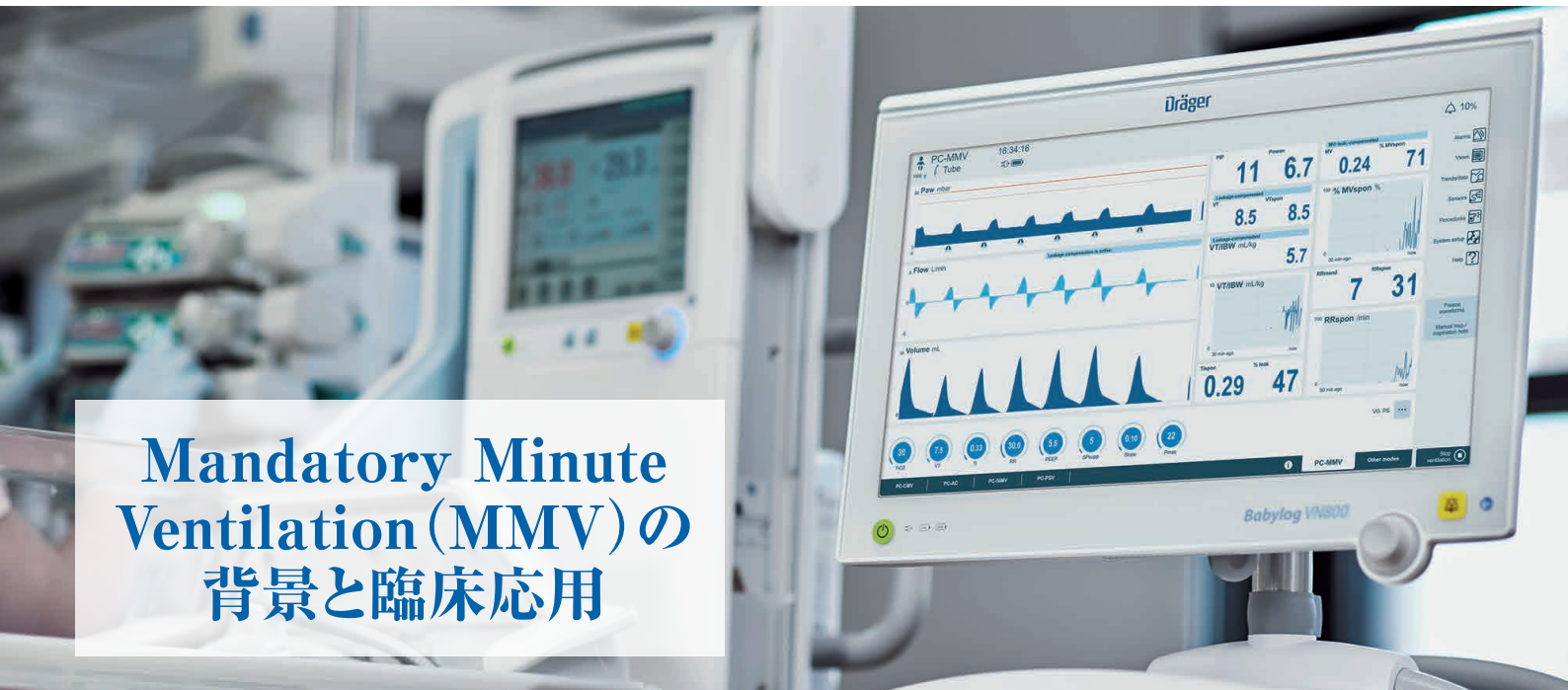


# ライブ配信セミナー開催のご案内



## Mandatory Minute Ventilation (MMV) の背景と臨床応用

2022年11月30日(水) 18:00~19:30

新生児呼吸管理において、強制換気中心の管理から自発呼吸が確立されるまでの間は、非常にチャレンジングで、現在も取り組まれている課題です。

今回ご紹介するMMVは、完全に強制換気が必要な児から、しっかりと自発呼吸がある児まで、すべてのフェーズに対応することができる換気モードです。このセミナーでは、Jane Pillow教授から、MMVの仕組みや臨床応用、動作原理、モニタリングなどについて、ご講義いただきます。

### Prof. Jane Pillow

Pillow教授は、西オーストラリア大学の主任研究員であり、臨床新生児科医です。オーストラリア、アジア、ヨーロッパの各地で、大学のコースや少人数の理論的・実践的ワークショップに参加し、学部、大学院、臨床教育に幅広く取り組んでいます。



### セミナー予定

講義:60分 \*講義は英語となります。\*日本語の資料を準備しております。  
質疑応答:30分

**申込みフォームで、事前質問受付中!**  
ぜひこの機会に、Pillow先生へ質問してみませんか?  
ご質問は、日本語でご記入いただけます。

参加費  
無料

お申込みは  
こちら

※参加には事前のお申込みが必要となります。  
※お申込みはウェブナー直前まで可能です。

こちらをクリック



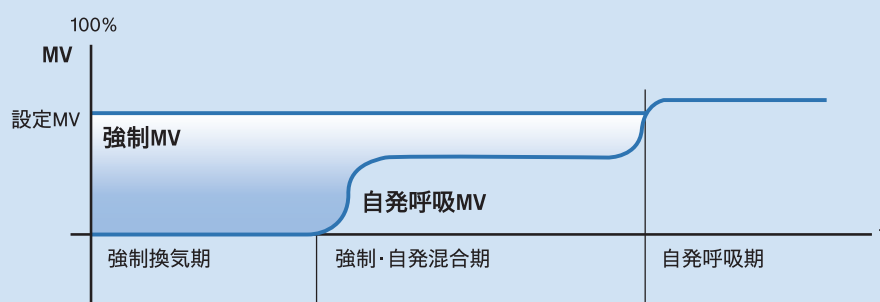
[www.draeger.com/Academy-NC](http://www.draeger.com/Academy-NC)

主催 ドレーゲルジャパン株式会社

人工呼吸は、合併症や肺損傷リスク、ICU滞在期間を最小限に留めるためにも、必要な期間のみ使用することが重要です。学術的な戦略と患児の正確な評価が、ウィーニングおよび抜管を成功させる重要な要素となります。

## Mandatory Minute Ventilation (強制分時換気)とは？

患児の自発呼吸の発達を促しながら、最小レベルの分時換気量を補償するモードです。右図のように強制換気から自発呼吸へのスムーズな移行をサポートし、強制MV過多や呼吸回数過多を強要されることがなく、患児自身の呼吸リズムを生み出すことが可能な換気モードです。



## 小冊子のご案内

### 表題

Mandatory Minute Ventilation(強制分時換気):  
背景と臨床応用

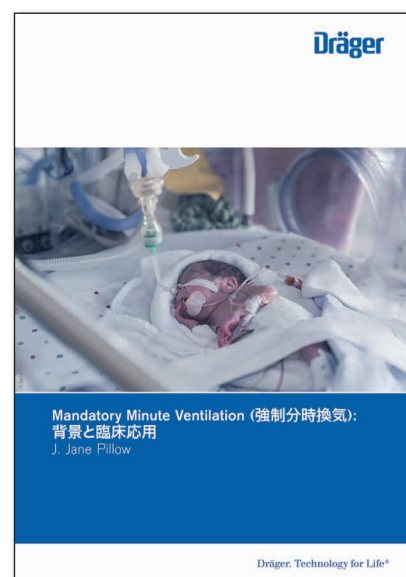
### 概要

MMVは、患者の自発呼吸の発達を促しながら、最小レベルの分時換気を補償します。

- ① MMVの背景と定義
- ① MMVの理論上の利点
- ① MMVのリスク
- ① PC-MMV/VG+PSの臨床応用
- ① MMV の適応
- ① モニタリング
- ① トラブルシューティング など

### 著者

Prof. Jane Pillow



「新生児領域 限定コンテンツ」にご登録いただきますと、  
無料でダウンロードいただけます。

[お申し込みはこちら▶](#)

